

県庁舎で営巣していたハヤブサのヒナの成長について

県庁舎で営巣している県絶滅危惧種のハヤブサについて、今年は、4月24日(火)までに5羽のヒナが誕生しました(ヒナ誕生は5年連続)。その後、5羽のうち3羽は死亡しましたが、残った2羽のヒナは順調に成長しています。

1 ヒナの巣立ちについて

- ・ヒナは5月29日(火)～6月3日(日)にかけて3羽の巣立ちが確認されています。
- ・5月29日(火)に巣立ったと思われるヒナは、5月31日(木)県庁敷地内で瀕死の状態に保護され、いしかわ動物園へ搬送しましたが、死亡が確認されました。死亡の原因は不明です。
- ・残り2羽のヒナは、まだうまく飛ぶことができず、親から餌をもらっています。

2 ハヤブサについて

ハヤブサ科。

希少種カテゴリー：県レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類、国レッドリスト絶滅危惧Ⅱ類。国内希少野生動植物種。

生態：海岸部の生態系の頂点に位置する鳥。県内では能登半島と加賀地方の海岸で繁殖。

3 県庁舎でのハヤブサの営巣

ハヤブサは、高所から獲物(鳥など)を探ることができる海岸近くの断崖に営巣する習性があり、県庁舎の高層階のベランダは、ハヤブサの営巣場所に適していたと考えられます。

- ・県庁舎では平成17年から産卵が確認されていたもので、平成26年に初めて繁殖に成功し、3羽のヒナが生まれ、無事に巣立ちしました。
- ・平成27年には4羽のヒナが、平成28年、平成29年は5羽のヒナが生まれ、いずれも全て巣立ちしています。
- ・県では、繁殖成功に向け、専門家による指導のもと、ベランダに砂を敷き、また窓のブラインドを下ろし刺激しないようにするなど留意をしてきました。
- ・今回のヒナ誕生や成長については、自然環境課ホームページにて紹介しています。<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/sizen/index.html>

4 取材について

ヒナの保護の観点からマスコミの現地取材は、ご遠慮下さい。

※ホームページにのみ掲載の写真及び動画データも含めて提供します。必要な社はご連絡下さい。(連絡先：生活環境部自然環境課 外線 076-225-1476/内線 4264)



【動画】巣立ったハヤブサのヒナ①（平成30年6月2日撮影）



【画像】巣立ったハヤブサのヒナ②（平成30年6月3日撮影）